

令和3年度 第3回

地域包括支援に関する会議

資料 1

2 報告

(1) 介護予防・生活支援サービス事業実施状況について

介護予防・生活支援サービス事業の実施状況について

(年間実績)

北九州市保健福祉局地域福祉推進課

内容	利用件数 (件)	
	令和2年度	令和3年度(4月~1月・10ヶ月)
訪問型サービス	50,308 (月平均4,192)	37,540 (月平均3,754)
通所型サービス	55,764 (月平均4,647)	47,575 (月平均4,758)

* 利用者数は、1人で複数サービスを利用している人も含まれるため、重複している場合があります。

* 令和2年度に比べ令和3年度は、引き続き新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、全体的な利用件数は減少傾向にあります。しかし、令和2年度に一旦減少した通所型サービスについては、増加傾向にあります。

<通所型サービスの増加傾向の要因についての考察>

- ① 高齢者のワクチン接種が進んだため。
- ② ADLの低下防止に通所系サービスの需要が高まったため。
- ③ 今年度実施した通所系サービス事業所に対する巡回点検（ひまわりラウンド）により、感染防止対策の徹底を図り、安心して利用できる環境が整ったため。

空 白

介護予防・生活支援サービス事業（短期集中予防型） 実施状況について

北九州市保健福祉局 認知症支援・介護予防センター

1 訪問・通所連動コース

		令和2年度	令和3年度
事業所数		8事業所	9事業所
参加者数	前期	新型コロナウイルス感染症拡大を鑑み中止	53人
	後期	48人	55人

2 訪問コース

(1) 実施人数 令和3年9月から開始（計上は、1月までの実施人数）

東部地域 門司区・小倉北区・小倉南区	14人
西部地域 若松区・八幡東区 八幡西区・戸畑区	10人

北九州市 介護予防・生活支援サービス事業 短期集中予防型（サービスC）概要

1 目的

生活行為（排泄、入浴、調理、買物、趣味活動等）に支障がある者を対象に、専門職が短期間、心身機能や高齢者を取り巻く環境にアプローチを行う。

サービス利用によって日常生活の活動を高め家庭や社会への参加（地域の通いの場等）につなげる。

2 利用対象者

- ・ 要支援認定者（要支援1・2）
- ・ 事業対象者（非該当者のうち、基本チェックリストに該当し、介護予防ケアマネジメントの依頼をした者）

3 実施内容

	訪問・通所連動コース	訪問コース
サービス種別	訪問型サービスCと通所型サービスCを組み合わせて実施	訪問型サービスC
サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 訪問し居宅や地域での生活環境を踏まえた評価を行い、通所（3か月間）において生活行為の改善を目的とした介護予防プログラムを実施する。 ・ 集団でプログラムを実施することでグループダイナミクスを活用する。 ・ 訪問での評価と通所におけるプログラムの連動性をはかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域包括支援センターとの同行訪問を含めて1人に対して最大5回の訪問を実施する。（おおむね5か月間） ・ 訪問し居宅や地域での生活環境を踏まえた評価を行い、実際の生活環境下で、動作や道具の工夫、心身機能を向上するためのホームプログラムを助言する。
関与する専門職	<ul style="list-style-type: none"> ・ リハビリテーション専門職（理学療法士、作業療法士） ・ 管理栄養士、栄養士 ・ 歯科衛生士、言語聴覚士 	<ul style="list-style-type: none"> ・ リハビリテーション専門職（理学療法士、作業療法士）